

形北3年 町探検から紫陽花ロープリース作りまで

形北小3年生は、6月に『おらが町、形北じまん』と題して、町探検に出かけました。そこで、子どもたちは、宗徳寺（三河地震の断層）、補陀寺、あじさいの里形原観光協会、天満神社など、魅力的な場所を見つけました。

9月には、それらの魅力的な場所でお仕事をされている方や関係者を「町の先生」として、学校にお招きしました。そして、場所のいわれやそこでのお仕事などのお話をしていただきました。子どもたちからは「地震の様子は？」「補陀寺はいつからあるの」「あじさいは何種類ある？」「牛がいるのはなぜ？」「ロープの作り方は？」などの質問が出ました。ひとつひとつ丁寧に応えて下さいました。

12月、あじさいの里様より紫陽花の切り花を分けていただきました。葉を取り除き洗い、ドライフラワーにした色や形が様々な紫陽花と形原地区のロープ工場様より頂いたクリスマスカラーのロープを用いて、子どもたちはリース作りをしました。形北の森などで見つけた松ぼっくり・どんぐりなども利用し、形原の魅力たっぷりの素敵なクリスマスリースができあがりました。



あじさいの里の方のお話(9月)



沢山のあじさいをいただきました



あじさいのドライフラワー + 形原のロープ



あじさいとのロープを組み合わせ、クリスマスリースを制作しました。



形原らしい作品が完成しました

形北5年 給食のエプロンづくり

12月から1月にかけて、形北小5年生は地域ボランティアの方を講師に招き、エプロンを作りました。

初めてミシンを触る子がほとんどで、ポピンに糸を巻くやり方や上糸・下糸の通し方を助けていただきながら制作しました。

完成したエプロンを給食の時間に使っています。



形小
4年

国語 新聞づくり ぐらしの中の和と洋

11/7に形小4年生が国語「ぐらしの中の和と洋」の新聞づくり学習で地域のお店（栄軒・信濃屋・松月・オヤシキ茶屋・形原公民館）を見学させていただきました。あまり触れることのなかったお着物に興味を持つことが出来たり、



信濃屋



オヤシキ茶屋

お菓子を季節によって作り方を換えたりなど、分かりやすくお話をしていただき、子どもたちの良い学びとなりました。おかげでよい新聞づくりになりました。ご協力に感謝いたします。

形中
2年

形原の魚をおいしく食べよう教室

11/25・28・12/1(月)の3日間、味のヤマスイの山本大輔さんを講師に、形原の海の魚をおいしく食べよう教室が行われました。今年で4回目、形中の恒例の活動になりました。

渚の交番UMICANさんのご協力のもと、形中2年生が、①なぜ三河湾の魚はおいしいのか、②地魚（今回はクロムツ・ワガ）のさばき方、③煮魚の仕方、④上手な食べ方を学び実践しました。

魚をさばいたり料理した経験がほとんどない生徒たちは、エラや内臓の処理に戸惑いながらも、声をあげて楽しそうに作業していました。また、山本さんの模型を使った上手な食べ方のお話はわかりやすく、食べ終わった後は綺麗に頭と骨だけが残っていました。

最後に山本さんから、「君たちはこれから『魚が上手に食べられる人』と言われるでしょう。その時は『魚のおいしいまち蒲郡で育った』ことを伝えPRしてください。」とお話がありました。



【生徒の感想】

- 今まで食べ方が面倒で煮魚や焼魚をさけてきましたが、きれいに食べる順番や形原の魚が栄養満点と知って、これからはたくさん食べようと思いました。(A・M)
- 今回の経験をいかして、さばく機会があれば次は教える側になりたいし、蒲郡の魚の良さや海の良さを他の人に伝えたいと思います。(M・S)
- 自分で作って食べてみて、前より魚が好きになった。(R・I)
- 蒲郡の魚はとてもおいしいし、頭がよくなる成分が多いとわかったので、ほかの地域に蒲郡の魚を自慢したいです。(H・M)